

海外留学支援プログラムの「奨励金」をもらう条件は？

基本的な条件を満たせば、誰でも受給できます。成績条件や人数制限もありません。また、返済の必要もありません。

「基本的な条件」とは？

留学説明会等への参加、留学先の授業の単位振り替え、学生親善大使活動の実施です。

「学生親善大使活動」とは？

群馬県の魅力を現地の学生や、ホストファミリー等に紹介してもらう活動です。簡単な報告書も作成してもらいます。

奨励金は何回も受給できますか？

在学中1回利用できます。詳細は留学説明会で説明します。

長期留学中、県立女子大学に授業料を納入しますか？

免除されます。その代わり留学先大学の授業料を納入します。なお、交換留学については、本学に授業料を納入し、留学先大学の授業料は免除されます。

交換留学を希望しています。

7校（カナダ、マレーシア、フィリピン、台湾、韓国、中国（2校））が示す条件を満たし、選考面接に合格する必要があります。

オンラインのプログラムはありますか？

あります。奨励金の対象になる語学研修を中心に紹介しています。奨励金対象外ですが、インターンシップ、能力・キャリア開発研修なども紹介しています。

留学の相談がしたいです。

外国語教育研究所（2号館6階）で行っています。研究員6名（アメリカ、カナダ、イギリス、ペルー）と日本人職員が常駐しており、随時アドバイスを受けることができます。



The留学

Study Abroad

2021
↓
2022



THE留学 2021-2022 海外留学支援プログラム報告書

【発行】群馬県立女子大学外国語教育研究所
Foreign Language Research Institute Gunma Prefectural Women's University
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
tel.0270-65-8511 fax.0270-65-9538 <https://www.gpwu.ac.jp/>



群馬県立女子大学長
小林良江

新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せ、2021年度末においても外務省は全世界の国々への渡航中止勧告、あるいは不要不急の渡航中止を発出しています。一方で、感染症に対する対応策の蓄積やワクチン接種者が増えている等を踏まえ、大学間交流協定等に基づく1年間の留学が再開され、現在も本学の二名の学生がカナダの Huron 大学に長期留学中です。やっと明るい兆しが見え始めました。

本学では、2005年から海外留学や研修を希望している学生の熱意に少しでも応えるため、本学独自の「海外留学支援プログラム」を創設し、留学や研修でかかる費用の一部を奨励金として交付しています。また、長期留学においては、本学の授業料免除、単位認定などにより留学期間を含めて4年間で卒業することも可能な制度になっています。さらに、渡航先が決定している「モデルコース」や学生自身がすべてを決定する「独自コース」など、自分のニーズに合った留学、研修が可能です。新型コロナウイルス感染症のため、渡航が難しい場合でも、短期研修を中心にアメリカ、オーストラリア、韓国などの大学附属語学学校が実施するオンライン

プログラムを厳選し、現地での対面授業と質的に遜色ない研修機会を提供しています。

本学の附属機関である外国語教育研究所では、留学相談、留学説明会や留学体験者座談会の開催、渡航前の危機管理セミナー、渡航中のサポートなど、手厚い留学支援を行っています。初めて海外留学や研修に参加する学生の皆さんも、安心して準備を進めることができます。

留学というと華やかなイメージがありますが、対面であろうと、オンラインであろうと、留学中は授業の予復習、レポート作成、試験準備や仲間とのディスカッションなど、コツコツ努力しなければできないことばかりです。同時に、様々な背景を持つ人々と話し合い、一緒に多くのことを経験する素晴らしい機会も得ることができます。時には、当たり前と思っていることが理解してもらえないことや自分の世界の狭さを知ることも体験するでしょう。むしろ、コロナ禍の今だからこそ前を向いて、世界とつながることがより大切になってくると考えています。本学は、そのような意欲、意志のある学生を全力で応援していきます。

海外留学支援プログラム概要

群馬県立女子大学の設置理念のひとつである「国際化社会に対応し得る広い教養と豊かな情操を備えた人材を育成すること」を実現するため海外留学を通して、活きた語学を学び、異文化交流を体験する機会を提供しています。

内容	規模	種類
体験的な学習を目的として海外留学を行う学生を対象に、渡航費と授業料などの経費について、長期留学は40万円、短期留学は20万円を上限として助成を行います。	100人程度 ● 長期(6か月以上1年以内) ● 短期(2週間以上6か月未満)	● 大学での正規授業、語学研修 ● ボランティア ● インターンシップ(就業体験) ● フィールドワーク(現地調査)

群馬県立女子大学からの主な留学先



短期研修

オーストラリア

ニューサウスウェールズ大学附属英語学校



文学部英米文化学科 4年 M.T

私は今回の海外研修を通して、日本では味わえない体験や、自分自身について考える機会など、様々なことを経験することができました。まず、「価値観の違い」です。見知らぬ人や通行人に挨拶し、親しく話をすることは、多くの日本人にとっては違和感を覚えると思いますが、オーストラリアではごく自然なことです。こういった「価値観の違い」に触れることで、自分の視野が大きく広がりました。次に「コミュニケーションの楽しさ」です。私は英語を流暢に話せるわけではありませんが、それでも必死にコミュニケーションをとろう、相手との会話を楽しもうという姿勢、facial expressionなどを意識することで、その誠意は伝わり、親しくなることができました。言葉は意思疎通を図る1つの「道具」に過ぎず、まずは伝えようとする「気持ち」が大切であることを痛感しました。今回の海外研修は、自分の自信に繋がり、将来のことを考えるきっかけにもなりました。この経験を糧にして、これからの人生をより良いものにできるよう、さらに努力していきたいと思えます。

イギリス

ブリティッシュスタディーセンターズ ロンドンセントラル



文学部美学美術史学科 4年 C.F

私が語学留学を通して学んだことは、「常に自分の意見をしっかりと持ち、その理由も自分の言葉で伝えることの大切さ」と「日本という国や日本人の素晴らしさ」です。私のクラスには、様々な国籍の人がいて、意見を求められるとすぐに答えた上に、その明確な理由も述べている姿に私はただただ驚かされました。私は、常に自分と向き合い意見を持つことがいかに重要であるか気づかされました。また、授業中にも関わらずあるイタリア人同士で声を荒げ、互いを尊重しようという姿勢も見えませんでした。日本人は控えめとよく言われますが、逆に考えれば相手を思いやる気持ちが強い国民性という日本人の素晴らしさに改めて気づき、日本人として生まれたことに誇りをもちました。恵まれた環境の中で多くのことを学べた今回の留学は、今後の人生にとって素晴らしい財産となるはず。この経験と、学んだことを忘れずに、まずはこれからの大学生活により一層精進していこうと思えます。

カナダ

バンウェスト カレッジ



国際コミュニケーション学部 4年 M.K

私が語学研修で学んだことは、「積極的に行動する」ということです。最初の授業で英語を話すとなると思ったように話せず、自信をなくしかけていました。その時、先生から「間違ってもいいからできるだけ話す時間を増やすように」とアドバイスを受け、なるべく自分から話しかけ、分からないことを先生に質問するよう心がけました。また、私が通っていた語学学校にブラジル出身の学生がいました。私は県女でポルトガル語を履修していたので、さっそく話しかけると話が盛り上がり、友達になることができました。私は気付かぬうちに「積極的に行動する」ことができるようになっていました。この研修で私は、英語のスキルだけではなく、自分から積極的に学ぶ姿勢が大切だということを実感できました。カナダは様々な政治的、文化的背景をもった人が暮らしています。出会った人たちは優しい方ばかりでした。カナダの人々、暮らし、文化に触れることで、たくさんのことを学び人間として成長することができました。

長期研修

カナダ

ヒューロン大学 (交換留学)



国際コミュニケーション学部 4年 S.A

留学では言語のみならず、予想以上に学べるものがありました。住居探しや携帯電話の契約、銀行口座の開通まで、手続きはほぼ全て自分で英語を使って行いました。初めての海外生活で不安に思ったり大変さを感じたりすることはありましたが、一つ一つ自分でこなしていくことで達成感が得られ、自信がつかれました。大学には留学生が想像以上に多く、彼らのネイティブと変わらない英語力にもかなり刺激を受けました。また彼らとの会話を通して、日本で生活しているだけではわからない世界の広さ、生き方の多様性、多文化多民族に対する柔軟な姿勢を



感じ、同時に自分の未熟さも痛感しました。大学の授業内では学生が、先生が話している間でも次々と挙手をし、思ったことや疑問を発言していきます。初めは日本との違いに圧倒されましたが、現在は様々なバックグラウンドをもった学生たちと肩を並べて授業を受けられるこの貴重な環境に幸せを感じています。また日本から離れたことで、今まで気づかなかった日本の良さや、知らなかったことの多さも感じています。カナダでの生活も残り短いですが、悔いのないようにより多くのことを経験していきたいと思えます。

カナダ

ヒューロン大学 (交換留学)



国際コミュニケーション学部 4年 M.Y

私はこの留学で印象に残ることの一つは、現地の皆さんの優しさです。私も人と接する時は、なるべく毎日明るく笑顔でいるよう努めています。こうすると、自分が困っている時に、周囲の仲間が助けてくれます。そして私も自然と困っている仲間の手をさしのべられるようになっていました。勉強面では、授業の予習が大切だと感じました。私は指示されたところよりも、範囲を広げて勉強しました。クラスメイトよりも+αの知識をもっていると、グループワークでの話し合いがより豊かになり、



議論も活発になります。授業や日々の生活の中で、分からない表現や単語など、焦ってしまうことも多々ありましたが、一つずつ身に付けていく努力を怠らないようにしました。カナダには様々な文化、宗教など価値観の異なる人がたくさん暮らしています。その中で、埋もれてしまわないかと不安もありましたが、自分に自信をもって、他者と比較せずに自分が輝くことが大切だと学びました。